



風の散歩道

今号の紙面から

- 2 臨時納税窓口を開設
- 3 緑化センターの移転工事開始
- 4・5 中・高齢者「健康づくりプログラム(前期)」参加者募集
- 6 春の骨粗しょう症健診
- 7 小・中一貫教育 保護者・市民意見交換会を開催

●三鷹市長メールマガジン●
三鷹市ホームページ・同携帯サイトから登録できます。

三鷹市広報番組
みる・みる・三鷹
武蔵野三鷹ケーブルテレビ5CH
1日4回放送9:30/14:30/19:30/23:30
●第189回(5月2日～22日放送)
三鷹駅南口駅前広場整備工事/農業公園で講習会/三木露風の資料が市に寄贈される
三鷹市市政情報番組
おはよう!三鷹市です
FMむさしの78.2MHz
月～金曜日10:20～25放送

●吉永みち子さんの講演と映画「小さな中国のお針子」上映●

第25回 憲法を記念する 市民のつどい

三鷹市・三鷹市教育委員会・憲法を記念する三鷹市民の会主催。
▽5月15日(土)午後1時～4時45分(0時30分開場) 三鷹市公会堂ホールで。
▽当日、直接会場へ。
三鷹市・三鷹市教育委員会・憲法を記念する三鷹市民の会主催。
▽5月15日(土)午後1時～4時45分(0時30分開場) 三鷹市公会堂ホールで。
▽当日、直接会場へ。
◆講演「自由と、そして平等に生きる」
講師 吉永みち子さん
(ノンフィクション作家)
▽午後3時10分からは、
講師には市民感覚を生かしながら、少数派と言われる人たちも自由に生き

市では昭和55年以来、企画段階から市民参加を得ながら協働で憲法施行記念事業を実施してきました。25回目を迎える今年は、ノンフィクション作家の吉永みち子さんによる講演と映画上映を実施します。ぜひご参加ください。
↓企画経営室平和・女性・国際化推進係 ☎内線2-115・FAX 48-1419



◆吉永みち子さんプロフィール
埼玉県川口市生まれ。1973年、東京外国語大学卒業後、競馬専門紙「勝馬」、「日刊ゲンダイ」の記者を経験。5年の専業主婦生活の後に仕事に復帰。1985年「気がつけば騎手の女房」で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。以後、テレビのコメン

テーター、最近では日弁連市民会議、郵政行政審議会、地方分権改革推進会議等、多方面で活躍。作品は「性同一性障害」(集英社新書)、「母と娘の四十年戦争」(集英社文庫)、「女偏地獄」(集英社)、「ボクって邪魔なの?」(小学館)など多数。

国民的に愛唱される童謡「赤とんぼ」の作詞で知られ、晩年を三鷹で暮らした詩人、三木露風の遺族・三木豊晴さん(牟礼四丁目…写真右)がこのたび1千438点にのぼる露風の資料を市に寄贈されました。
市ではこれまでも、遺族の豊晴さんから資料の寄贈を受けており、市文化施設などで展示を行っています。また、その一部は、露風が校歌を作詞した高山小学校の学校図書館にある三木露風コーナーに展示されています(毎週土曜日午前9時～正午に見学可)。
今回寄贈された資料についても、市の所蔵品として管理保存し、今後、公開をしていく予定です。
↓コミュニティ文化室 ☎25

資料1千438点が市に寄贈されました
三木露風直筆のノートなど

◆催し物コーナー
▽公会堂ホワイエにて
◆市民団体展示コーナー
◆人権啓発・行政相談PR
◆図書紹介・貸し出しコーナー
◆ユニセフパネル展「守られているの?子どもの人権」(抜粋)・「戦時下の三鷹」パネル展(抜粋)

映画
「小さな中国のお針子」
▽午後1時から
文化大革命時代の中国を舞台に、自ら運命を切り開こうとしていく少女の成長を2人の青年を通して描く物語(2002年フランス映画、中国語字幕日本語、110分)。

第5回 市長と語り合う会
「緑と土を守る」参加者募集
対象は市民農園・ちびっ子農園・老人レジャー農園関係者、農業関係者、児童遊園世話人、公園里親の方
▷5月17日(月)午後7時～9時、市役所3階第2委員会室で。
▶5月10日(月) (必着)までに、はがきまたはEメールに「市長と語り合う会参加希望」、①住所・②氏名(ふりがな)・③

年齢・④性別・⑤電話番号・⑥メールアドレス・⑦所属・⑧語り合いたい内容を記入し「〒181-8555三鷹市役所秘書広報課秘書係」・Eメール:hisho@city.mitaka.tokyo.jpへ申し込む。定員12人(定員を超えた場合は抽選)。
傍聴をご希望の方は5月10日(月) (必着)までに、はがきまたはEメールに「市長と語り合う会傍聴希望」・上記の①～⑥を記入して申し込んでください。
⇒秘書広報課秘書係 ☎内線2010

「美しいまち」を願う気持ちは、誰にも共通です。とはいえ、「美しさ」に関するイメージは、人によって異なります。たとえば、街並み、景観の美しさ、ごみなどが、きれいな街に必要不可欠な要素で、最近では「歩きたくない」が、吸い殻・空き缶等の「ポイ捨て」に、強い対応をすべきとの意見が、最近では増えています。
三鷹市では、18日と23日に、商工会、商店会、ゴミ減量等推進員、たばこ販売関係者等の市民の皆さんの協力を得て、市内でのキャンペーン活動を企画いたしました。
未成年の喫煙防止と喫煙マナーの向上が、「美しいまち」にとって不可欠であり、徹底したマナー向上は愛煙家とそうでない人との共生を図るためにも必須です。
「美しいまち」は、共に三鷹を愛する他者への、喫煙マナーを初めとする「思いやり」があつてこそ実現するものだと思います。

4月17日(日)、府中市の東京自治会館で、東京都の26市の市長13の町村長等によって構成されるオール東京市町村共同事業実行本部メンバーが一堂に会して、「喫煙マナーアップキャンペーン宣言」を行い、共同キャンペーンをスタートしました。当日、市町村長は、協賛で参加した区長会の役員である区長とご一緒に、府中駅前喫煙マナーアップを呼びかけました。これは、喫煙マナーの向上が、各市町村共通に、優先順位の高い課題として認識されたことによる、まさに広域連携の取り組みです。
三鷹市でも、市民の皆さんからの、特に駅前や歩道での「歩きたくない」や、吸い殻・空き缶等の「ポイ捨て」に、強い対応をすべきとの意見が、最近では増えています。
三鷹市では、18日と23日に、商工会、商店会、ゴミ減量等推進員、たばこ販売関係者等の市民の皆さんの協力を得て、市内でのキャンペーン活動を企画いたしました。

「美しいまち」を願う気持ちは、誰にも共通です。とはいえ、「美しさ」に関するイメージは、人によって異なります。たとえば、街並み、景観の美しさ、ごみなどが、きれいな街に必要不可欠な要素で、最近では「歩きたくない」が、吸い殻・空き缶等の「ポイ捨て」に、強い対応をすべきとの意見が、最近では増えています。
三鷹市では、18日と23日に、商工会、商店会、ゴミ減量等推進員、たばこ販売関係者等の市民の皆さんの協力を得て、市内でのキャンペーン活動を企画いたしました。



三鷹市長 清原 慶子